

元気確認ウォーキング⑤平塚北部の田園風景を楽しむ

日 時：2020年10月12日（月） 天候：晴 歩数：1万8000歩 距離：11km

集 合：平塚総合公園ふれあい動物園東側 9時00分

コース：平塚総合公園→渋田大橋→鷹匠橋→新幹線橋梁→土安橋→大島八幡神社→十輪寺→城島公民館→
平塚乗馬クラブ→新幹線橋梁→慈眼寺→東豊田公園→平塚総合公園

参加者：吉野（L） 小野里 河野 野村 福士 山川 市村 阿部

10月12日、「元気確認ウォーキング⑤平塚北部の田園風景を楽しむ」を行いました。晴、この日横浜の最高気温は25.9℃の夏日、平塚もウォーキング中は汗ばむような陽気でした。リーダーは吉野さん、総合公園から6人（吉野 小野里 河野 野村 福士 市村）が参加してスタート。渋田大橋から渋田川左岸を上流へ、鷹匠橋から2人（山川 阿部）が加わりました。

伊勢原市境近くの土安橋を渡り右岸を下流へ。渋田川を離れて田園地帯へ入り大島八幡神社で小休憩、ミカンやお菓子の差し入れがあり楽しいお喋りタイム。城島公民館から平塚乗馬クラブへと進み、ここで吉野さんが、箱根連山から富士山、金時山、矢倉岳、丹沢山系、大山、三峰山、仏果山、経ヶ岳の山並みを説明してくれました。田園地帯から軽自動車運転協会や湘南自動車検査登録事務所などが並ぶ地帯を歩き、東豊田公園へ。ここまで1万5000歩、山川さんと阿部さんは帰途へ。6人は13時丁度、総合公園に戻りました。今までの元気確認ウォーキング最高の歩数、1万8000歩でした。

写真は、青空のもと「平塚北部の田園風景を楽しむ」ウォーキングの一枚です。後ろの山並みは丹沢山系・大山です。ソーシャルディスタンスでのウォーキング、マスクをしている人もいますので紹介します。前列左から吉野さん、河野さん、小野里さん、福士さん、後列左から野村さん、阿部さん、山川さんです。



総合公園～県道606号線～渋田大橋～渋田川左岸土手歩き～鷹匠橋

伊豆諸島に大雨をもたらした台風14号が進路を南よりに変え熱帯低気圧になった10月12日、総合公園に6人が集合。ストレッチをして、吉野さんがコース説明、9時10分にスタート。県道606号線を北へ進みます。右側に平塚地方卸売市場がありました。渋田大橋に出て渋田川左岸の桜並木が続く土手を歩きます。少し強い向かい風が吹いていて川べりのススキがなびいています。9時43分、鷹匠橋に到着。山川さんと阿部さんが合流。鷹匠橋の石碑があり説明板には「徳川家康は鷹狩を好み、鷹場であったこの付近でしばしば鷹狩をした。鷹場を管理した鷹匠は村人に、鷹狩のための橋を架けさせた」と書かれていました。



鷹匠橋～富士見橋～左に大山 右に横内団地～田園地帯～新幹線橋梁

鷹匠橋を出て、渋田川左岸に沿う水路に架かる赤い欄干の富士見橋を渡り、桜並木の土手をさらに上流へ歩きます。桜の季節は、この辺りが花見客で賑わいます。左、渋田川越しに大山の雄姿が見えます。右手には、県営横内団地が広がっています。土手沿いの民家の庭に次郎柿がたわわに実をつけていて、隣の家の年配女性が丁寧に次郎柿の説明をしてくれました。少し進むと畑に何やらこんもりと茂っている作物が、山川さんが「オカワカメ」と教えてくれました。傍らには里芋も育てられていました。

田園地帯が広がってきて10時17分、新幹線橋梁下を通過。東京駅から54.447km地点です。



橋梁～渋田川左岸～土安橋～右岸を下流へ～コスモス～干し藁風景

新幹線橋梁下を通り、再び渋田川左岸を歩き、伊勢原市市境近くの土安橋まで来ました。橋を渡ります、前方に見える山並みは丹沢山系です。右岸を下流へ歩きます。土手沿いのコスモスやクジャクソウなどの花々を眺めながらのウォーキング。田園地帯にでると干し藁風景が広がっていました。



大島神社本堂前で小休憩&お喋りタイム～榎の木で囲まれた十輪寺本堂

渋田川を離れて田園地帯を西方向へ、10時35分に大島八幡神社の本堂前で小休憩です。ミカンやお菓子の差し入れがあり楽しいお喋りタイム。ときおり鶏の鳴き声が聞こえます。「珍しいわ、最近家の近くでは鶏の鳴き声を聞かないものね」などと、のどかな時間が過ぎます。話はつきませんが、重い腰を上げてスタートです。神社を出て5分ほど歩くと十輪寺、本堂が榎の木で囲われていました。



十輪寺～「フラワーロード」～城島公民館～田園地帯～平塚乗馬クラブ

十輪寺からさらに西方向へ進みます。畑の片隅や民家の庭先に色とりどりの花が咲いていました。「フラワーロード」(勝手に命名)の花を楽しみながら、「とりとめのない話をしながら歩くのも楽しいね」などと、リラックスモードのウォーキングです。十字路を左折して県道605号線を南下、城島農協や城島小学校などこの辺りの中心地かと思われる地域を歩き11時8分、城島公民館へ到着してトイレ休憩。

城島公民館から新川沿いの田園地帯を歩きます。この辺りはまだ稲が刈られていませんでした。城所大排水路を歩いて行くと田園地帯の中に平塚乗馬クラブがありました。



丹沢山系の山並みを堪能～田園地帯～東海道新幹線55.510km地点

乗馬クラブの脇で吉野さんが、箱根連山から富士山、金時山、矢倉岳、丹沢山系の山並みを説明してくれました。写真は大山の右側に見える三峰山、そして「関東ふれあいのみち神奈川」コースで登った仏果山、経ヶ岳の山並みです。大山には11月3日、「80歳お祝い・コロナ収束祈願大山登山」で山頂に立つ予定。

乗馬クラブを出て田園地帯を歩きます。新川に架かる橋の上でみなさんが下を眺めているところをパチリ。東海道新幹線の高架が見えてきました。後ろは、青空の下に広がる丹沢山系、大山の上にぽかりと白い雲が浮かんでいます。東京駅から55.510km地点の橋梁を通過です。



橋梁～右前方に湘南平～慈眼寺 村井玄歳の墓～「はさがけ」風景

時刻は12時少し前、3時間ほど歩きおなかも空いてきました。右前方に湘南平、道端には紫の色鮮やかなサフランが咲いていました。慈眼寺へ、明治時代に「食道楽」を執筆した村井玄歳（むらいげんさい）の墓がありました。玄歳は、印税で得た平塚駅の南側の広大な敷地に1904年から亡くなるまで居住しました。「はさがけ」風景の広がる長閑な田園地帯を歩きます。お米は、平塚産のブランド米「はるみ」でしょうか。



東豊田公園～13時丁度に総合公園に戻る 1万8000歩・11km

田園地帯から軽自動車運転協会や湘南自動車検査登録事務所などが並ぶ地帯を歩き、東豊田公園へ。ここまで1万5000歩、次回のウォーキングの打ち合わせ、11月9日（月）に「浜辺のなぎさ散歩道&相模川河口から上流へ」を行うことに、リーダーは河野さん。ここで一次解散、山川さんと阿部さんは帰途へ。6人は総合公園へ向けてもうひと歩き、途中に洒落たレストランがありました。13時丁度、総合公園に戻りました。今までの元気確認ウォーキング最高の歩数の1万8000歩、11kmでした。



平塚市の農業は、相模川と金目川の下流域に発達した平野とそれを囲む丘陵地で、神奈川県下1位の生産量を誇る稲作や酪農、養豚を中心とした畜産業が営まれています。そんな日本の原風景を見ることができた「元気確認ウォーキング⑤平塚北部の田園風景を楽しむ」でした。 (いちむら記)